

<p>外部への試料・情報提供</p>	<p><input type="checkbox"/> 自施設のみで利用</p> <p>■ 多施設共同研究グループ内（組み入れられた患者さんの基本情報、治療情報、画像情報は、アウトカムについては、東京大学医学部附属病院 血管外科において統計解析が行われます。</p> <p>なお、登録されたデータは特定の関係者以外はアクセスできない状態で、厳重に管理されます。</p>
<p>研究組織</p>	<p>以下の共同研究施設で行われます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東京大学医学部附属病院 血管外科 研究代表者 保科 克行 ・ 静岡県立総合病院 ・ 旭川医科大学病院 ・ 徳島赤十字病院 ・ かわぐち心臓呼吸病院 ・ 兵庫県立淡路医療センター ・ JA 広島総合病院 ・ 横須賀共済病院 ・ 東北大学病院 ・ 手稲溪仁会病院 ・ 埼玉石心会病院 ・ 済生会福岡総合病院 ・ 琉球大学病院 ・ 新札幌循環器病院 ・ 徳島大学病院 ・ 九州医療センター ・ 聖マリアンナ医科大学病院 ・ 千葉大学医学部附属病院 ・ 小倉記念病院 ・ 北里大学病院 ・ 岐阜県総合医療センター ・ 鹿児島大学病院 ・ ベルランド総合病院 ・ 製鉄記念室蘭病院・ ・ 伊勢崎市民病院 ・ 関西医科大学附属病院 ・ 済生会宇都宮病院 ・ 埼玉県立循環器・呼吸器病センター

研究の意義、目的	<p>腹部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術は開腹手術に比べて、低侵襲で早期成績が良好な治療法です。しかし、術後長期間経過した患者さんで、ステントグラフト固定部のエンドリークという血液の漏れが生じて、追加治療や開腹治療が必要になる患者さんが少数例あることもわかってきました。</p> <p>本研究の目的は、AFX ステントグラフトシステム（メインボディと VELA カフ）内挿術を行った患者さんの、遠隔期成績とくにタイプ III エンドリーク（メインボディと VELA カフの接合部の血流の漏れ）を解析することです。</p>
研究の方法	<p>研究に参加している施設において AFX ステントグラフトシステム（メインボディならびに VELA カフ）を用いて腹部大動脈瘤に対する治療を受けた患者さんが対象となります。</p> <p>手術してから退院までならびに術後 3 年までの診療内容（血液検査結果や検査画像に関する画像）をデータとして使用させていただきます。そうして集まってきた AFX ステントグラフトシステム（メインボディならびに VELA カフ）を使用した腹部大動脈瘤のデータを解析し、デバイス耐性を評価します。</p>
その他	<p>当研究は、日本ライフライン株式会社が研究資金の提供を行うことで、全国で多施設の観察研究を行っております。</p> <p>当研究は、関西医科大学附属病院の倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の化学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、病院長の許可を得ております。</p> <p>当研究の研究責任者は、「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規定」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ております。</p>
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：下記の連絡先にお電話または書面でご通知ください。お電話の場合は、下記の研究責任者にご連絡ください。</p> <p>研究責任者： 関西医科大学附属病院 血管外科 善甫 宣哉</p>

研究代表者：

東京大学医学部附属病院 血管外科 保科 克行

郵送先住所：〒573-1010 大阪府枚方市新町2丁目3番1号

関西医科大学附属病院 血管外科

電話 072-804-0101 、 FAX 072-804-0150